

令和5年度自己評価結果公表シート

学校法人住吉清水学園 英明幼稚園住吉

1、園の教育目標

『三つ子の魂百まで』 「人を育てるのは人」を基本姿勢に、恵まれた教育環境の中で、子どもたちのすぐれた小さな成長の芽を早く見逃さずに伸ばし、才能を磨き、豊かな心、意欲、態度を培う。

教育目標 「明るく、たくましく、辛抱強い子どもを育てる」
自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる
他人を思いやる心を育てる
ありがとうと言える素直な心や、感謝の心を育てる
豊かな精神と丈夫な身体を育てる
基本的な生活習慣を身につける

2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育内容の充実	◎子どもとの関りについて気づいたことなどを日々記録することが習慣化され、子どもの成長した点や印象的なやり取りなどを感じ思い返すことができた。 ◎クラス、子どもたち同士で挨拶ができるよう言葉数の少ない子どもにも積極的に声をかけ意識させ、挨拶が自然とできるようになってきた。 ◎保護者の抱えている子育ての悩みに寄り添い、子どもの様子を保護者に伝えるようにしてきた。
防災・防犯対策	避難（防犯）訓練を毎月行い、様々な災害等をイメージして取り組んだ。 ひとつの災害だけではなく、地震からの津波など複合的に場面を設定して、訓練を行った。 また、実際に消防隊の方やミニ消防車も参加し、初期消火の訓練もおこなった。 災害時や不審人物等の情報がすぐに保護者の方に伝わるようにメール配信システムを活用している。 子どもたちの安全面を確保するために、送迎時も玄関に男性職員の門番を配置している。
送迎バス安全管理	送迎バスの運行における安全管理については、マニュアルを見直し、ドライバー、添乗員、担任、管理職で二重、三重でチェック項目を設け、同時にコミュニケーションを大事にしてヒューマンエラーを防止する。 送迎のバスだけでなく、遠足や特別保育でバス利用する際も同様に安全管理に努める。

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教職員は前向きに取り組み、少しでも環境を整えて教育活動の実践をしていくことができた。
今後も客観的な目で自らの教育を振り返り、さらに充実した教育実践ができるように努力していきたい。

4、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育内容の充実	園庭の環境をより豊かにしました様々なことに興味や関心を持てる豊かな感性を持った子どもに育てる。 四季をより感じるができるよう四季の作品づくりをより一層充実させたくさんの知識が持てるよう育てていきたい。 また、各学年の展示をみていただき他園の先生方からの助言、意見などをいただき学ぶ場をつくりたい。
園庭の自然の充実と安全を図る	園庭の樹木の剪定や植栽を季節ごとに行い、季節ごとの自然を感じられる環境を整え、また広い園庭には大きな木や古い木もあるため、職員一同で危険な状態の物がなにか日々確認する。
安全管理	バスの安全管理だけでなく、保育中の子どもたちの安全管理にもしっかりと取り組んでいく。 そして、子どもの安全管理を最優先する。 子どもたちと正しく防災・防犯に対する知識や行動を身に着けるようにしていきたい。
健康管理	◎教職員および園児たちの健康管理 コロナは5類に移行したが、コロナだけでなく一人ひとりの健康管理意識を高める。自分自身の健康管理を含め、感染防止対策を徹底する。みんなが安心して保育できる環境づくりに努める。 ◎熱中症予防のために、熱中症指数の計測やその状況に合わせた行動基準をもって、子どもたちが健康に安心して活動できる環境をつくる。

5、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。